

## ワークショップ：地図上の避難訓練「DIG」

### 対象学年・所要時間

(対象学年) 5, 6年生

(所要時間) 45分程度

(内容) 自宅に一人でいる時や登下校時に災害が発生したと想定し、ゲーム感覚で、地図を見ながらどう避難するのかを考え、併せて、そのために必要な日頃の備えや、地域の課題を考える。



### 進め方

過去の災害映像等を使用し、発災時のイメージを掴む。

班ごとに自分の地域の地図を囲み、災害時に危険な場所、避難できる場所等を書き込みながら、地域の良い点・悪い点を話し合う。

登校時の発災を想定し、地図の上でどう避難するのかを話し合う。

また、自宅に一人でいる時に地震が起きたらどうするかを話し合う。

上記を踏まえ、日頃の備えや地域の課題を話し合う。



(写真:「チャレンジ防災48」より)

### 効果

- ・地図を元に、鳥になったようなイメージで地域の景色を思い浮かべ、災害時にどのような危険があるのかに気づき、自分の身を守る判断力を付ける。
- ・日頃の備えや地域の課題を考え、子供から家族、地域へと、防災意識の広がりを狙う。
- ・本学習の内容や使用した地図は、防災マップを作る際の下準備となる。